

超音波検査における Detective flow imaging (DFI)、Shear wave elastography (SWE) を用いた副甲状腺腫瘍の鑑別診断の開発

研究協力をお願い

当科では「超音波検査における Detective flow imaging (DFI)、Shear wave elastography (SWE) を用いた副甲状腺腫瘍の鑑別診断の開発」という研究を中央倫理委員会の承認および研究機関の長（院長：汲田伸一郎）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2021年4月1日から2023年3月31日までに副甲状腺腫瘍のために日本医科大学付属病院で手術を受けた患者さん

2. 研究の目的

超音波検査で細い血管の血流の検出、組織の硬さの測定を用いて、新しい超音波検査の診断法を開発を目指しています。それにより、副甲状腺の良性腫瘍と癌の区別、副甲状腺腫瘍とリンパ節・甲状腺嚢胞の区別、副甲状腺腫瘍の位置の同定を目的とします。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院内分泌外科を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者及び研究事務局は日本医科大学付属病院 内分泌外科 銭真臣です。他の参加研究機関は日本医科大学武蔵小杉病院（研究責任者：赤須東樹）です。

2021年4月1日から2023年3月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科で、副甲状腺腫瘍に対して手術を受けた患者さんの超音波検査所見などを後ろ向きに解析し、手術所見（位置、大きさ、形状、境界の明瞭性・性状、内部エコー（エコーレベル・均質）、石灰化の有無、ドプラ法（速度モード、パワーモード、DFI）、エラストグラフィ（static elastography、SWE）など）と病理所見（位置、大きさ、副甲状腺の形状、浸潤の有無など）の関係性についての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から2024年3月31日までです。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、血液検査所見、超音波検査所見、手術術式、手術所見、病理診断結果、TNM分類など

試料・情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：汲田伸一郎）

試料・情報の提供を受ける機関：日本医科大学武蔵小杉病院（院長：谷合信彦）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する試料・情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、日本医科大学付属病院内分泌外科の銭真臣が医局のインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータに保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 内分泌外科 杉谷巖

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6799